

# 常盤新聞

刊夕日七月九

發行編輯人 川崎文治

本社 同香地 (電話三三〇番)

印刷所 常盤毎日印刷所

定部金 五十二圓

一月 五十二圓

三月 一五十二圓

半年 三〇四圓

一年 五九八圓

休刊日 日曜大祭 祝日 祝日

郵局掛號 第三三三號

電話 三三〇番

### 常盤文藝

#### 父 (四) 小間 繁 敬

郊外の停車場。汽車の窓から老人首を出して、ホームに立つた宗雄と話し合っている。

宗雄 でお父さん、どうして帰るんですか (決然として) 帰らう。何故かへるんです。何故僕にお世話をさせては下さらないんです。

老人 おつ母あは死んだし俺もな、お前に出會つたら一緒に居てえと思つてはゐたけど矢つ張り歸らう。歸つた方がいゝんだ。家にやあおつ母あのだ墓が待つてゐるんだから……

宗雄 折角なあ。お前が築き上げた腕を、地位を、名譽を……俺が出て来た爲にお前の幸福を返す俺はぶち壊したくはねなんだ。なあ宗雄だからお前はもうお父つあんのはもうお父つ一生懸命に自分の仕事をやつて呉れ。俺はな、もう安心したんだ。お前がさうやつて一人前になつて来て呉れさいすりやあ、もうそれでいゝんだ。

宗雄 (汽笛が鳴る。汽車はゆるやかに動き出す) でお父さん (涙が頬に頬を流れる)

### 買よき店 5丁目

各種靴 各種取揃

タオル各種  
メリヤスシャツ  
チヂミシャツ  
ガレーゼンシャツ  
ハンカチ

電話三五三番

### 仕奉會社

百毒下し  
萬金膏  
六神丸  
回効散

平町田町 宗佐美藥局

### 外科新設

部長 藤本 順

婦人科 院長 木村寅次郎

平町新川町 木村醫院

電話一六四番

### 貸家案内

白銀町	商店向	二五〇〇
全	勤人向	二六〇〇
全	勤人向	二二〇〇
全	勤人向	二〇〇〇
全	勤人向	一八〇〇
全	勤人向	一七〇〇
全	勤人向	一六〇〇
全	勤人向	一五〇〇
全	勤人向	一四〇〇
全	勤人向	一三〇〇
全	勤人向	一二〇〇
全	勤人向	一一〇〇
全	勤人向	一〇〇〇

加藤營業所 白銀町(電話三三〇番)

### 滿蒙經營の基調

山本 泰太郎

(三)

唯其の缺點とする所は此の鐵礦の品質が貧弱で、所謂普通富鐵五十五パーセントに對し、二十二パーセントに過ぎない爲の經濟的に經營することが困難であると従來一般に稱せられて居り又實際滿鐵の經營する鞍山製鐵所は年々三百萬圓内外の損失を續けて来たのであります。然るに最近に至りまして左に述ぶる二つの理由に依り全く損失を見ない

一、技術上貧鐵處理法の發見

二、經費節約と原料たる石灰を原價にて供給する等内部計算の改正

今日技術上此の貧鐵の品位を五十八パーセント乃至六十パーセントまで進むやう進歩いたし又機械の設備が整ふて来たのであります。今日世界に於ける製鐵業の大勢は、米國が製鐵國として第一位あり、其の鐵礦の品位は五十パーセント乃至五十一パーセントといふことになつてゐるが併し此の富鐵は今後二十年乃至二十五年間を以て其の命脈が終了する豫測であり、其後は所謂貧鐵採掘時代に移るのでありまして米國でもニューヨーク、ステートは現に三十パーセント内外の鐵礦を採掘してゐるが今や米國に於ける製鐵業の根本問題は經濟的貧鐵處理の一途にありと唱道せられてゐるのであります。

### 猫イラズ

宇津救命丸  
太田胃散  
君が代  
ヨチユム  
チンキ

電話三五三番

### 七日替り番組

マキノ御室超特作  
マキノ正博監督作品  
奇譚 仇討殉情録  
マキノ智子、山口俊夫、マキノ梅太郎共演  
少女俱樂部連載  
原作吉川英治 愈々完結篇  
ひよどり草紙  
マキノ梅太郎、松尾文人、岡島艶子主演  
マキノ超特作  
幕末紅涙悲史 益々佳境  
神變 怪兇刃  
鬼没篇 市川百々之助一人三役  
千草香子助演  
マキノ作品  
現代劇 闇に踊る  
藤田林太郎、濱田格主演  
土曜日曜日生徒デー  
マキノ 有聲座

### 看護婦派出所の求めに應ず

平町南町 看護婦會  
電話三〇七番

### 新山沖の海戰

原作 林義子  
桂武男、室町榮次郎、久米讓山田純三郎、木下千代子、笠淳子

監督 清瀬英治郎  
葛木香一、桂武男、尾上桃華、中村吉次、櫻木梅子、衣笠淳子

隣同志の安達、齊藤の兩家は犬猿の間柄で、鬪組の出現、討伐の命は兩家に……

九月七日寫眞替り  
土曜日生徒デー  
高級映畫 常設

電話四六六

### 短刀を揮つて

#### 同衾中を斬る

##### 女房に見捨てられて 不身持ち男の激憤

富山縣東礪波郡上平村大字大原生れ山本藤藏(七)は以前石城郡湯本町入山炭礦で坑内稼ぎをやつて居たが

**性來の** 身持ち放蕩で數ヶ月前内縁の妻小島ヨシ(三)を置き去りにした儘家出し諸方を流浪して昨日歸つて来た處ヨシは其後同村字八仙居住入山炭礦坑夫太田八郎の女房になつたと聞き大いに憤慨し午後九時頃兩人の同衾中に暴れ込み短刀を揮つて八郎の

**横腹を** 刺し更らにヨシの顔部に斬りつけたが氣丈な八郎は血みどろになつた儘藤藏を取つて押へ喉を締めて隣家の者を走らせて其筋に急報したため其の場に於て難なく駐在巡查に逮捕され平署に引致伊藤警部補取調中

### 不敬漢公判

#### 二十日平で

天理教研究會の不敬事件の一味平町四丁目居住瀧澤幸一郎夫婦の第一回公判は来る二十六日午前十時から平支部で千葉判事係武田檢察立會で開廷するが傍聴は禁止するらしい

### 大日本と大倉

#### 兩炭礦の合併

大日本、大倉、磐城三炭礦會社の合併は磐城が資本系統の關係で交渉に應じないので却て大日本、大倉の合併が好轉し近く實現する筈

### 勿來弓道

#### 一等木村秀香氏

既報石城郡勿來町大日本弓道會支部主催の弓道講習會は四日午前八時より同地道

### 百萬年前棲息した

#### 有齒鮫の化石現る

##### 四倉セメントの粘土中から 早大徳永博士鑑定

石城郡四倉町磐城セメント會社では今回同工業所に隣接せる丘陵よりセメントの原料たる粘土を發見したが現在の

**生産率** にして約四五ヶ年間採掘し得られるので原料運搬其他で年額一萬餘圓の経費節減されると云ふが數日前のこと同丘陵の粘土中より巨大なる動物の化石が發見されたので同會

### 校長會協議題

#### 本縣下小學校長會は来る十五、六兩日二本松小學校に開催される筈で石城郡から提出される議題は大體左記三項の様である

協議題小學校の全員の貯金を勸奨すること▲談話題年功俸積立の機關を設置しては如何▲建議題小學校員の制服を一定することを知事に建議

### 秘策を練る

#### 縣下武道試合 警中に開かる

本縣下各中等學校の武道大會は九日午前九時から平町

### 鎌田の轢死娘は

#### 病弱な基督信者 自殺を覺悟し家出

昨報平町鎌田地内鐵道線路にて轢死した身元不明の十八娘は其後平署にて捜査の結果茨城縣水戸市字三光町マツの三女川俣ツヤ(九)である事が判明した同人は

**約二年前** から水戸稅務署の雇を奉職して居たが去る五日例の通り歸宅し午後八時半頃母マツが入浴に出掛けた後で家出したのであつて自殺の原因として同人は高等小學校卒業後財團法人大正會產婆看護婦學校に入り卒業後常務病院の内科勤務を

志願して 体格検査の結果不合格となり水戸稅務署に就職したのであるが先天的に心臓辨膜症に罹り到底職業婦人として起つ事が出来ぬといふ爲めに悲觀しキリスト教の信者であつた處から友達等に對しても口癖の様に「早く天國に行きたい」と口走つて居た由である

### 湯本軌道

#### 長橋町の陳情

平町長橋町區長川角兼吉氏外同區委員は本日町役場を訪ね湯本軌道の延長に關し同町國道を通過する件に關し縣廳よりの諮問に對する答申案を然るべく願ひ度し



家庭欄

### 耳の兎

金色まばゆい古金がザク／＼世の中はお米が上つて寄るとさわる不景氣話の近ごろこれはまた花咲爺さんのやうな、はく／＼話それは五日朝九時ころのこゝ東京市京橋區北横町八お米屋さんの市川豊藏さん宅は土藏の改築で番頭

### 上京の費用

#### 決算發表さる

平第一小學校野球部高等科チームが全國少年野球大會に参加せる費用の決算左記の如くである

▽收入四百二十一圓七十二錢(内金三百六十五圓四十錢後援者寄附金總額五十五圓六十六錢大日本野球協會よりの補助金、六十六錢相馬郡小高野球大會参加費殘金)

▽支出二百九十二圓二錢(内金廿五圓廿一錢選手及附添人四日間食代、九十四圓六十錢同三日間宿泊料、九圓八十一錢同夕食代、九十七圓四十八錢同往復汽車賃、廿圓四十七錢自動車及電車賃、十九圓八十錢ミットグローブ購入費、廿四圓六十五錢、茶代おやつ見學通信等諸雜費)

▽差引、殘金百廿九圓七十錢、同校野球部獎勵費に充當

紙を敷きナフタリンを撒いてその發生を防げば非常に減少します。著物にはノミ取粉をまくか或は除虫菊の揮發油浸出液或はセンブリ煎液を霧吹きでふきかけておきます。

▽白のセルにシミ 茶やコーヒーなどのシミは、毛織物では、酒石酸をつけて水洗ひをする方法でとれるのです。また青寫眞のシミはその部分に洗濯曹達液をつけますと、青色が褐色に変化して来ますから水でゆすいだ後、酒石酸なり尿酸なりつけてしばらく日に晒して水洗ひをしますと、とることが出来ます。

磐城中學校の道場に於て舉行されるが審判として劍道は中山博道、高野佐三郎兩師範柔道は櫻澤、高橋、本多各六段が來平する筈である各中等學校の對抗だけに就中スポーツ界の興味を中心となつてゐる

の柏木金吾さんと豊藏さんの二人で土臺の下を掘り返してゐると丁度地下八尺ばかりの所からカチツと鶴嘴に觸つたものがある、兩人は探つて見ると古ぼけた直徑四寸高さ五寸位の瀬戸の甕何んだらうと兩人は驚いて鶴嘴を放つて置いて一目散に北紺屋署へそしてその甕を警官立會で蓋を開いてびっくり中には金色まばゆい古金がザク／＼詰め込まれてあつた一枚々々數へたら一一分金が八枚二分金が二百三十一枚一朱金が百十二枚二朱金が百九十二枚あつたこれは時價にしてざつと二萬圓ほどのものだ